

科目名	メディア社会論		
担当教員名	鈴木 弘貴		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

メディアコミュニケーション学科専門科目

情報を伝える「メディア」の発展が、私たち人間の「社会」をどう変えてきたかを考えます。例えば、今や女子大生なら持っていない人がいないであろう、ケータイ。この新たな情報伝達手段の登場で、「待ち合わせ」とか「約束の時間」という行為や考え方が変化してきたのは、皆さん自身が最もよく知ることでしょう。このように、新たな情報伝達手段の登場が私たちの行動パターンやひいては社会のあり方にまで影響を与えてきたことを歴史的に学んでいくことで、未来の社会の姿のヒントを得ることが狙いです。

## 内容

1	イントロダクション
2	「メディア・社会・論」って何？
3	「ことば」の誕生 「文字」の発明1
4	「ことば」の誕生 「文字」の発明2
5	「大量印刷」法の発達1
6	「大量印刷」法の発達2
7	「電気通信・電氣的記録機器」の発明1
8	「電気通信・電氣的記録機器」の発明2
9	「コンピュータ」の登場1
10	「コンピュータ」の登場2
11	インターネットの時代1
12	インターネットの時代2
13	現代の社会とメディアの課題
14	現代の社会とメディアの課題
15	まとめ

## 評価

逐次、小レポートを書いてもらいます(60%)。最後にテストをします(40%)。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書『メディア用語基本事典』(世界思想社)

科目名	言語表現論		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

\*参加型のアクティブラーニングで授業を進めます。

社会で求められているコミュニケーション能力とは何かを理解し

必要なスキルを実践的に学び、「書く」「考える」「伝える」「理解する」力の基礎を身に付ける。

グループワークで、アウトプット、フィードバックの訓練をおこないます。

自分の考えを言語化し、見える状態にすることから始めます。

マインドマップを基本ツールとしてマスターしてもらいます。

## 内容

- 1 この授業の意味と評価の方法。
- 2 コミュニケーション能力とは何か。
- 3 マインドマップというツール
- 4 メディア力を高める
- 5 考える、書く、実行する方法 1
- 6 考える、書く、実行する方法 2
- 7 相手理解と伝える行為 1
- 8 相手理解と伝える行為 2
- 9 伝わる・揺さぶる 1
- 10 伝わる・揺さぶる 2
- 11 アウトプットとフィードバック
- 12 社会が求める言語運用能力とのギャップ
- 13 続けるコツと助け合い
- 14 継続的マップ化
- 15 振り返り

## 評価

獲得したポイントにより下記のように評価します。\* 毎回授業後48時間以内に まとめ&感想(質問を含む) Self-evaluationクラスの「良い点」「気になる点」「ネクストステップ(具体的な修正アイデア)」をメールで送信。 日常出席まとめ感想メール・・・1~7ポイント(提出【基礎点】... 1ポイント、まとめ&感想...1~3ポイント、Self-evaluation1~3ポイント) レポート・課題・・・3~8ポイント(6回以上[授業2回につき1つ程度]課す) 最終課題or試験・・・5~10ポイント 合計ポイントと評価・・・D<60 C<70 B<80 A<90 S(4回以上の欠席は受講放棄とみなします)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業中に指示します。

科目名	ニュースと社会		
担当教員名	川口 英俊、岡本 卓、大西 正行		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目はメディアコミュニケーション学科1年後期必修科目であり、ニュースを通してメディアへの理解や時事問題の見方を学ぶ。様々なメディアを理解しながらメディアの特質・影響力を学び、ニュースの見方を学びながら時事問題への理解を深める。同時にその時々々のニュースを取り上げ解説する。

現代のますます複雑化するマスメディアが報道する多量のニュースの中から現代社会で生活する上で真に必要な情報の取捨選択を行い得るメディア・リテラシーを身に付けることを目標とする。

#### 内容

##### 岡本卓 ? テレビ・報道とニュース-

- マスメディアと私たち(マスメディアと世論、マスメディアの影響力etc)
- 匿名発表と匿名報道(プライバシーの保護と侵害、情報公開と個人情報保護、メディアスクラムetc)
- テレビとインターネット(国民保護法とテレビ、尖閣諸島沖衝突映像とネット流出etc)
- 政治とテレビ(報道の自由と政治家の介入、政治家のテレビ出演、「小泉劇場」報道etc)
- 戦争とテレビ(ベトナム戦争の前と後のテレビ報道、「ロボット戦争」とテレビ、テレビは戦争を防げるか/止められるかetc)

##### 大西正行 ? 新聞とニュース-

- 新聞と一般読者(トップニュースは、どうして決まるか。「社会の監視」「特ダネ」「地域主義」の価値感は今...)
- 行政組織と新聞(捜査機関等を含む役所の側の論理、取材の現場と記者クラブ)
- 企業行動と新聞(資本の側の論理)
- 新聞と政治家の間(第4権力の核としての新聞と政治権力)
- 新聞の論調と社会の流れ(戦前との比較も交えた、社説やコラムの世界観)

##### 川口英俊 ? インターネット・新しいメディアとニュース-

- メディア・リテラシー(ニュースの読み方・考え方、インターネットによるニュースの読み方)
- インターネットとニュース(インターネットがニュースに与えた影響 インターネットとテレビ・新聞の「衰退」、政治とニュースとインターネット)
- インターネットによる情報発信(インターネットによる情報発信の可能性と問題点)
- 新しいメディアとニュース(新しいコミュニケーションツール-ブログ・ツイッター、you tube・携帯・メール)
- まとめ

## 評価

担当者3名がレポート等によりそれぞれ評価をつけ、それを総合して（小テスト3.3割、レポート3.3割、授業を踏まえての提出物3.3割）成績を出す。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

### 推薦書

池上彰「ニュースの読み方使い方」新潮文庫

谷岡一郎「社会調査の『ウソ』」文春新書

科目名	プレゼンテーション技法		
担当教員名	安達 一寿		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

・学科基礎専門科目での位置づけの通り、学科全員にデジタルデバイスを用いた効果的なプレゼンテーションスキルの習得と自分のメディア力を高めることを目指します。

科目の概要

・Power Pointを使える武器として使えるように実践的なスキルを、各自のコンテンツのプレゼンテーションをおこなうことを通して学びます。文字のレイアウト、音声、画像、動画の処理など高度なテクニックも取り入れたCoolなプレゼンテーションのTipsを習得しましょう。

- ・この授業は、アクティブラーニング(学生が自ら正解を探す「能動的学習スタイル」)による参加型授業です。
- ・授業内の実習だけでは技術は向上しません、課題などハードなハードルも乗り越え、より高いもの達成したいという学生の受講を期待します。

学修目標

- ・プレゼンテーションの基本的な考え方や技能を理解する。
- ・Power Pointの実践的な活用スキルを身につける。
- ・テーマに沿ったプレゼンテーションの準備ができる。
- ・実際に効果的なプレゼンテーションを行うことができる。

内容

1	コミュニケーションツールとしてのプレゼン技術
2	プレゼンテーションのゴールとは
3	わかりやすさわかりにくさの正体
4	PCデバイス利用の短所・長所
5	パワーポイント 基本操作
6	パワーポイント グラフ処理
7	パワーポイント アニメーション基礎
8	パワーポイント アニメーション応用
9	プレゼンテーションテーマ設定
10	調査活動
11	資料の作成
12	資料の完成
13	プレゼンテーションの実施
14	プレゼンテーションの実施・評価
15	まとめ

## 評価

獲得したポイントにより下記のように評価します。毎回授業後48時間以内に 　まとめ&感想（質問含む）　Self  
-evaluationクラスの「良い点」「気になる点」「ネクストステップ（具体的な修正アイデア）」を提出。　ま  
まとめ感想・・・1～7ポイント（提出【基礎点】... 1ポイント、まとめ&感想...1～3ポイント、Self-evalua  
tion1～3ポイント）　レポート・課題・・・3～8ポイント（6回以上[授業2回につき1つ程度]課す）　最終課  
題or試験・・・5～10ポイント　合計ポイントと評価・・・D<60　C<70　B<80　A（4回以上の欠席は受  
講放棄とみなします）

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業時に指定する

科目名	プレゼンテーション技法		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

##### 科目の性格

・学科基礎専門科目での位置づけの通り、学科全員にデジタルデバイスを用いた効果的なプレゼンテーションスキルの習得と自分のメディア力を高めることを目指します。

##### 科目の概要

・Power Pointを使える武器として使えるように実践的なスキルを、各自のコンテンツのプレゼンテーションをおこなうことを通して学びます。文字のレイアウト、音声、画像、動画の処理など高度なテクニックも取り入れたCoolなプレゼンテーションのTipsを習得しましょう。

・この授業は、アクティブラーニング(学生が自ら正解を探す「能動的学習スタイル」)による参加型授業です。

・授業内の実習だけでは技術は向上しません、課題などハードなハードルも乗り越え、より高いもの達成したいという学生の受講を期待します。

##### 学修目標

- ・プレゼンテーションの基本的な考え方や技能を理解する。
- ・Power Pointの実践的な活用スキルを身につける。

#### 内容

- 1 コミュニケーションツールとしてのプレゼン技術
- 2 プレゼンテーションのゴールとは
- 3 わかりやすさわかりにくさの正体
- 4 PCデバイス利用の短所・長所
- 5 パワーポイント 基本操作
- 6 パワーポイント グラフ処理
- 7 パワーポイント アニメーション基礎
- 8 パワーポイント アニメーション応用
- 9 プレゼンテーションテーマ設定
- 10 調査活動
- 11 資料の作成
- 12 資料の完成
- 13 プレゼンテーションの実施
- 14 プレゼンテーションの実施・評価
- 15 まとめ

#### 評価

獲得したポイントにより下記のように評価します。\* 毎回授業後48時間以内に まとめ&感想(質問を含む) Sel

f-evaluationクラスの「良い点」「気になる点」「ネクストステップ(具体的な修正アイデア)」をメールで送信。 日常出席まとめ感想メール・・・1~7ポイント(提出【基礎点】... 1ポイント、まとめ&感想...1~3ポイント、Self-evaluation1~3ポイント) レポート・課題・・・3~8ポイント(6回以上[授業2回につき1つ程度]課す) 最終課題or試験・・・5~10ポイント 合計ポイントと評価・・・D<60 C<70 B<80 A<90 S(4回以上の欠席は受講放棄とみなします)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業時に指示します



科目名	脳とコミュニケーション		
担当教員名	森田 勝之		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この講義は、私たちのコミュニケーションを操る脳についてのものです。私たちが誰かに自分の気持ちを伝えるとき、相手に「伝える内容」ばかりを考えますが、本当に何が伝わっているのか不明な部分が多いのです。つまり、(1) 言葉に込められた私たちの感情の情報でしょうか。(2) それとも発話方法が伝える感情でしょうか。(3) さらにには私たちの顔に現れた感情でしょうか。(2)(3)は私たちが意図しなくても伝わってしまう情報です。

私たちが、何かを想像し、行動し、結果を得るとき、いったい脳の中で何が起きているのでしょうか。言語だけではなく、視覚、聴覚、触覚など様々な角度から脳をとらえて行こうと思う。なるべく平易な授業を心がけますが、しっかり聴いて下さい。

#### 内容

前半は脳とコミュニケーションの基本的な知識。、後半はその応用例をみていく。

1. 脳にとってコミュニケーションとは何か 導入
2. 脳はどう進化し、成長するか
3. 脳にとって視覚と聴覚とはに何か
4. 脳と味覚、嗅覚、触覚とは何か
5. 脳の可逆性と成長
6. 脳の中で感情はどう生まれるか
7. 脳に言語はどう組み込まれるか
8. 脳はどこまで騙せるか(微表情の分析)
9. 脳と性格:人によって判断が違うのはなぜか。
- 10.脳と世界:広告や記事
- 11.脳に男女の脳の差はあるのか
- 12.知能と記憶と先入観
- 13.「私」はどこにいるのか。
14. 脳とコミュニケーション
- 15.まとめ

#### 評価

リアクションペーパーと課題レポート

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書:森田勝之 『0歳からそだてる脳と心』創元社

科目名	文章表現（基礎）		
担当教員名	岡本 卓		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（2011年度生）-メディアコミュニケーション学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

コミュニケーションは「話すー聞く」「書くー読む」が基本である。このうちこの授業では「書く」力を養い、自分を文章で正確に表現して相手に伝えるノウハウを習得する。

文章力は読書（量）に比例する。とにかく本を読むこと大切である。まず「書くこと」に慣れ、苦にならないようになることを第一の狙いとする。

正しい日本語の書き方、正しい原稿用紙の使い方、文章表現上の作法を習得する

#### 内容

「きちんとした文章」とはどのような文章のことを言うのだろうか。それは、その文章を何のために、誰のために書くのか、という書く目的によつと異なるが、基本は自分の書きたいことが過不足なく書かれ、読んだ人が正しく理解してくれる文章ではないだろうか。

授業ではいろいろな題で800字～1200字程度の文章（小論文）を制限時間（授業時間）内に書くことに重点を置く。とにかく出来るだけ沢山書く訓練を続ける。書いた文章は提出後に添削し、翌週全員に返却し、クラス全体で表現力、語彙力、構成力などについて検証する。その際、プライバシーを守るために、執筆者名が他に分からないように配慮することはもちろんである。

#### 評価

毎回書いた文章 = 60点、平常点 = 40点 計100点 うち60点で合格

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

初年次教育テキスト編集委員会 『フレッシュマンセミナー・テキスト - 大学新入生のための学び方ワークブック』 東京電機大学出版局 2010年

科目名	文章表現（基礎）		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（2011年度生）-メディアコミュニケーション学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

文章がうまく書けるようにトレーニングする授業です。

自分たちが日常生活で無意識におこなっている「書く」という表現行為を、意識化・対象化するトレーニングが主な授業の目的です。

“考えを書き表す”という行為を、憂鬱なもと感じている人も少なくありません。

この授業では、もっと短時間で書けるようになりたい、もっと分かりやすい文章が書きたいという学生のために準備されたものです。

#### 内容

自分の頭の中に雑然と存在するいくつかの考えが、それぞれどのように関連しているかを明らかにする。

自分の考えを明らかにし、関連づけ、論理的に組み立てるという“構造的な作業”のトレーニングをさまざまな題材を元に展開する。

次のステップとして、文章表現をどのようにするかという“スタイル的な作業”に移る。

授業ではこれらの作業を繰り返す。

#### 評価

獲得したポイントにより下記のように評価します。\* 毎回授業後48時間以内に まとめ&感想（質問えを含む） Self-evaluationクラスの「良い点」「気になる点」「ネクストステップ（具体的な修正アイデア）」をメールで送信。 日常出席まとめ感想メール・・・1~7ポイント（提出【基礎点】... 1ポイント、まとめ&感想...1~3ポイント、Self-evaluation1~3ポイント） レポート・課題・・・3~8ポイント（6回以上[授業2回につき1つ程度]課す） 最終課題or試験・・・5~10ポイント 合計ポイントと評価・・・D<60 C<70 B<80 A<90 S（4回以上の欠席は受講放棄とみなします）

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

初年次教育テキスト編集委員会 『フレッシュマンセミナー・テキスト - 大学新入生のための学び方ワークブック』 東京電機大学出版局 2010年

科目名	文章表現（基礎）		
担当教員名	大西 正行		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（2011年度生）-メディアコミュニケーション学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

相手をそらさず、相手に信頼される文章表現を磨きます。

コミュニケーションの基礎となる手紙や企画書の書き方などを学んで実社会で生きる力を養います。

## 内容

いざ実社会に出た時、「どのような言葉、文章で自分を表現したら、周囲や上司に信頼される人材として認められるか」を授業の眼目とします。そのために手紙の書き方（御礼、お詫び等のケース）をはじめ、就職活動に直結する自己PR等の文章の指導・添削等を通して、コミュニケーション能力の向上を図ります。

実社会では、敬語の使い方はもとより、使わない不快な言葉等への認識がその人の評価に直接つながります。授業では、常識豊かな大人の表現の型を身に付けてもらい、その土台の上に「自分の気持ち、考え方を相手にどう伝えたらよいか」を学び、自分の周囲のみならず、ビジネスシーンにも対応できるコミュニケーション力を養います。

## 評価

授業中に書く文章やレポート＝60点、出席率＋授業への取り組み＝40点計100点で60点以上を合格とします。詳細については担当教員が最初に説明します。

## 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

初年次教育テキスト編集委員会 『フレッシュマンセミナー・テキスト - 大学新入生のための学び方ワークブック』 東京電機大学出版局 2010年

科目名	文章表現（基礎）		
担当教員名	鈴木 弘貴		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（2011年度生）-メディアコミュニケーション学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

文章がうまく書けるようにトレーニングする授業です。

自分たちが日常生活で無意識におこなっている「書く」という表現行為を、意識化・対象化するトレーニングが主な授業の目的です。

“考えを書き表す”という行為を、憂鬱なもと感じている人も少なくありません。

この授業では、もっと短時間で書けるようになりたい、もっと分かりやすい文章が書きたいという学生のために準備されたものです。

#### 内容

自分の頭の中に雑然と存在するいくつかの考えが、それぞれどのように関連しているかを明らかにする。

自分の考えを明らかにし、関連づけ、論理的に組み立てるという“構造的な作業”のトレーニングをさまざまな題材を元に展開する。

次のステップとして、文章表現をどのようにするかという“スタイル的な作業”に移る。

授業ではこれらの作業を繰り返す。

#### 評価

授業中に書く文章やレポート = 60 点、出席率 + 授業への取り組み = 40 点 計100 点で60 点以上を合格とします。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

初年次教育テキスト編集委員会 『フレッシュマンセミナー・テキスト - 大学新入生のための学び方ワークブック』 東京電機大学出版局 2010年

科目名	メディア文化論		
担当教員名	田中 東子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

本講義では、「メディア」というものが社会においてどのような文化的基盤として機能しているのかを考えていく。書籍、ラジオ、テレビ、インターネットといったさまざまな媒体の形をとりながら、メディアは私たちの社会において「文化」、「コミュニケーション」、「ネットワーク」、「コミュニティ」などのさまざまな機能を果たしている。本講義では、伊藤守編『よくわかるメディア・スタディーズ』を教科書としながら「メディア文化」について広く学んでいく。受講者それぞれが、教科書のなかから関心のある項目を選んで発表し、その内容について受講者全員で討論し、毎回、ミニレポートを作成してもらう。

#### 内容

1. メディア文化論とはなにか?
2. メディアの物質性と歴史性
3. 文字メディアの誕生
4. 音声メディアの誕生
5. 映像メディアの誕生
6. インターネットとウェブ
7. メディア社会の構造
8. メディア産業とその特徴
9. メディア文化のグローバル化
10. メディアの表象(1)人種
11. メディアの表象(2)ジェンダー
12. メディアの表象(3)若者
13. メディア文化と都市空間
14. メディアの政治経済学
15. まとめ

#### 評価

授業への参加意欲25%、授業ごとに提出するミニレポート25%、学期末テスト50%で総合して評価する。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

##### 教科書

伊藤守・よくわかるメディア・スタディーズ・ミネルヴァ書房

その他、必要な教材については授業内で適宜、説明します。

科目名	放送概論		
担当教員名	岡本 卓		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

テレビやラジオの放送制度や放送番組を中心に研究する。具体的には実際の政治や事件、戦争などがどのように報道されているかを検証する。この意味で「時事問題を扱う他の科目と合わせて履修することを薦める。3年、4年次の卒論執筆の基礎にもなる。

マスメディアは世界、国家、社会を映す鏡である。しかし、鏡が曇ってはそれらを正しく映し出すことはできない。特にテレビは今や、人々の生活や仕事と切っても切り離せない社会装置でありながら、「やらせ」や「捏造」、「政治(家)との関係」など様々な課題を抱えている。真に役に立ち、必要とされるテレビとはどのようなテレビなのか、という視点でテレビを考える科目である。

ただ漫然とテレビを見るのではなく、「考えながら見る」「見た後で考える」ことが重要である。とにかく人気のある番組、質の高い番組をたくさん見てほしい。そして、「もし自分がディレクターだったら」「もし、レポーターだったら」どうしよう!と考えると、もっとテレビが身近になり、テレビが伝えることをよりよく、より正確に、より楽しく、そして、より批判的にとらえることができるようになる。

#### 内容

- 1) ガイダンス 「放送」とは何?、「(放送)ジャーナリズムって何?」
  - 2) 放送にはルールがある タイタニック号遭難の教訓、届かなければ放送じゃない、「あまねく論」
  - 3) 放送と通信の融合 MSNBC の衝撃、デジタル技術が可能にしたもの
  - 4) テレビの影響力 メディアスクラムと放送被害、BPO
  - 5) 放送番組基準 時代/世相とともに変わる番組基準、NHK/民放比較
  - 6) 放送と政治 多様性の確保と所有規制問題
  - 7) 放送と政治 ケネディ対ニクソンTV討論から“劇場型報道”
  - 8) 放送と政治 ベトナム戦争とテレビ
  - 9) 番組編集権 言論・表現の自由と政治(家)の“介入”
  - 10) 戦争報道 ベトナム戦争の前と後
  - 11) 戦争報道 BBC戦争報道ガイドライン、米従軍取材ガイドライン、自衛隊取材要綱(イラク)
  - 12) 戦争報道 9・11同時多発テロとイラク・アフガン戦争、“ロボット戦争”
  - 13) 災害報道 被害報道から防災報道へ、国境を越える災害と国際放送
  - 14) 視聴率問題 視聴率調査、視聴率至上主義の弊害、誰のためのテレビか
- 15まとめ

#### 評価

毎回のミニレポート = 40点(授業の理解度、受講生の問題意識、日常のテレビ視聴を通しての疑問点等をみる)

期末試験 = 60点

計100点 両方合わせて60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は使わない。参考図書は授業中に随時紹介する。



科目名	環境と社会		
担当教員名	田総 恵子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

1.2年生対象メディア群科目として、地球環境問題の様々な側面について考える。

地球閉居問題は、身近な生活環境の悪化を原因として発生した問題である。しかし、その改善策を考える際は、単に生活環境を改善して、人間にとって住みやすい環境を作りなおすという視点だけでなく、地球の健康、つまりエコシステム(生態系)という視点から見ても望ましい策を考えるという動きが始まっている。この講義では、既に行われている具体的な対策について検討するとともに、エコシステムに注目する行動の基礎になった環境倫理学の視点も紹介して、生態系を重視する環境保護政策のあり方について考える。

環境問題の多様性を理解し、「環境学」の基礎を学ぶ。

内容

1	地球環境問題をどう捉えるか
2	環境を考える4つの視点(1):市場優先派と制度重視派
3	環境を考える4つの視点(2):生態系優先派と緑の社会正義派
4	環境保護対策の考え方
5	国際協力体制の始まり
6	国際協力体制の発展
7	環境問題における国際対立
8	環境問題と経済格差
9	環境問題とジェンダー
10	環境問題と民主主義
11	環境NGO
12	環境倫理学
13	生態系を守る環境保護政策
14	環境学への視座
15	まとめ

評価

レポート(60%)、試験(40%)で総合評価。再試験は行わない。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】瀬戸昌之他『文化系のための環境論・入門』有斐閣アルマ 1998年

【推薦書】澤昭裕・関総一郎編著『地球温暖化問題の再検証』東洋経済新報社 2004年 451.35C

【参考図書】ヴァンダナ・シヴァ『生物多様性の危機』明石書店 2003年

科目名	アジア入門		
担当教員名	岡本 卓		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

21世紀に入り、アジアは世界経済の成長センターとしての位置づけが一層明確になった。同時に朝鮮半島の軍事対立と驚異的な経済成長に裏打ちされた中国の存在感は冷戦終結後の国際政治の大きな焦点となっている。アジアに位置する日本は、そうしたアジア各国との緊密な関係強化を抜きにして、国家レベルでも個々の企業レベルでもその将来像を描くことすら出来なくなった。

この授業はアジアを次の3つに大別し、それぞれ19世紀末以降の歴史と現状を分析・検証し、近未来について考えていくものである。なお、この授業は時事解説の側面も持つので、受講生は日々の新聞やテレビの報道に強い関心を持つことを求める。

#### 1) 中国

アヘン戦争から日清・日露戦争、日中戦争から国共内戦、中華人民共和国の建国と大躍進政策の失敗、文化大革命から改革開放経済体制、世界の工場としての現在まで

#### 2) 朝鮮半島

韓国併合(朝鮮半島の植民地化)と日本敗戦、大韓民国/朝鮮民主主義人民共和国の建国と朝鮮戦争、南北対立と北朝鮮核武装の現在まで

#### 3) 東南アジア

東西冷戦下のドミノ理論とベトナム戦争、開発独裁と地域経済、ASEANとしての地域協力機構の現在まで

#### 内容

- 1) ガイダンス～アジアとは?、“アジアは一つ”か?、アジアの世紀は本当か?
- 2) 欧米列強のアジア進出と日本～大航海時代、アジア植民地化、アヘン戦争
- 3) 明治新政府の対アジア外交～日清露3国の思惑と日清・日露戦争、韓国併合
- 4) 日本のアジア侵略～日中戦争からアジア太平洋戦争、満州国建国と中国残留孤児問題
- 5) 日本敗戦と靖国神社～靖国神社問題と歴史教科書問題
- 6) 中華人民共和国建国～大躍進から文化大革命、中ソ論争、台湾問題(中国代表権問題)
- 7) 朝鮮戦争と日本～日本の“再軍備”と自衛隊、自衛隊任務の変遷
- 8) 東西冷戦とドミノ理論～マッカーズムと中国封じ込め政策、米ソ英仏中の核開発競争とNPT体制
- 9) ベトナム戦争～米ソ代理戦争、日米安保条約/日米同盟の“完成”
- 10) 開発独裁～民主主義より“まずは経済建設”路線、日本のODA戦略
- 11) 米中接近～中ソ対立/ベトナム戦争/ニクソンショックと日中国交正常化
- 12) 中国改革開放経済体制へ～鄧小平路線/世界の工場/光と影、チャイニーズ・ドリーム、G20時代
- 13) 北朝鮮問題～北朝鮮の核武装と東アジアの安全保障、北朝鮮世襲体制の行方、日朝国交正常化問題
- 14) 東アジア共同体構想と障害～尖閣/竹島問題、日中韓歴史認識問題、日米/米中/日中相関関係
- 15) まとめ

#### 評価

ミニテスト（受講生の理解度を見るために、毎回または随時10分程度をかけて行う＝一種のリアクションペーパー）＋期末試験（またはレポート）で総合評価する。60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書は使わない。資料は随時配布する。参考図書は授業中に紹介する。

科目名	エンターテインメントメディア論		
担当教員名	田中 東子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

本講義では、グローバル化が進むにつれて世界中で視聴されるようになったハリウッド映画のいくつかの作品を視聴し、その面白さの根源がどこにあるのか、また世界中で見られる映像としてそこで描かれている事物がどのような意味を持ちうるのか、といった点についてグループワークを中心に分析していく。授業で扱うのは、『バック・トゥ・ザ・フューチャー』、『スター・ウォーズ』、『タイタニック』、『ターミネーター2』など、誰もが一度は見たことがある(だろう)作品である。授業内では、実際に映画を視聴し、映画理論に関する論文を輪読し、「ハリウッド脚本術」と呼ばれるその独特の脚本構成の分析や映像表現技術の検討を通じて、エンターテインメント性とはなにか、またその概念が孕む問題点について考えていく。

#### 内容

1. エンターテインメントメディアとは何か?
2. エンターテインメントメディアの構造(1)ストーリーと脚本
3. エンターテインメントメディアの構造(2)キャラクター
4. エンターテインメントメディアの構造(3)フレームと編集
5. エンターテインメントメディアの構造(4)イデオロギー
6. エンターテインメントメディアの分析(1)
7. エンターテインメントメディアの分析(2)
8. エンターテインメントメディアの分析(3)
9. エンターテインメントメディアの分析(4)
10. エンターテインメントメディアの分析(5)
11. エンターテインメントメディアの分析(6)
12. エンターテインメントメディアと映画理論(1)
13. エンターテインメントメディアと映画理論(2)
14. エンターテインメントメディアと映画理論(3)
15. まとめ

#### 評価

授業への参加意欲25%、授業ごとに提出するミニレポート25%、学期末テスト50%を総合して評価する。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

##### 推薦書

藤井仁子『入門・現代ハリウッド映画講義』人文書院

ルイス・ジアネッティ『映画技法のリテラシー1』フィルムアート社

ルイス・ジアネッティ『映画技法のリテラシー2』フィルムアート社

純丘曜彰『エンターテインメント映画の文法：ヒットを約束する脚本からカメラワークまで』フィルムアート社

ニール・D.ヒックス『ハリウッド脚本術：プロになるためのワークショップ101』 フィルムアート社

\*必要に応じて、授業内でプリントを配布します。

科目名	マンガ・アニメ論		
担当教員名	田中 東子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択,選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

戦後日本の代表的なポピュラー文化として、マンガとアニメーションは相互に影響を与え合いながら発展してきました。その結果、マンガやアニメは、「ソフト・パワー」として現在日本の産業を支える重要なコンテンツになっています。日本ではどうして、こんなにもマンガとアニメが普及したのでしょうか？ その歴史的な文脈を探りながら、わたしたちの社会や文化、日常生活の中でマンガとアニメが果たしてきた役割を、文化社会学的な視点から考察します。そのために、広く社会学、歴史学、文化研究、メディア論、表象論、文学理論など、分析のために役立つ理論や方法論を毎週の講義を通じて紹介していきます。最終的には、受講者が実際にレポートなどを作成する際に使えるような知識を学んでもらうことが本講義の目的となります。また、製作現場が実際にはどのように展開されているかを学んでもらうために、実際にマンガやアニメーションの製作に関わっている特別講師の方を招いて特別講義をしてもらうことになっています。

#### 内容

1. ポピュラー文化としてマンガとアニメをどう考察するか
2. 戦後マンガの歴史(1) 手塚治虫が開いた世界
3. 戦後マンガの歴史(2) 少年マンガの世界
4. 戦後マンガの歴史(3) 少女マンガの世界
5. マンガと表象(1) ジェンダーの視点から
6. マンガと表象(2) 恋愛の視点から
7. マンガとその製作現場 特別講師の授業
8. 戦後アニメの歴史(1) テレビアニメの世界
9. 戦後アニメの歴史(2) SFアニメの世界
10. 戦後アニメの歴史(3) アニメ映画の世界
11. アニメと表象(1) ハイブリディティの視点から
12. アニメと表象(2) テクノロジーの視点から
13. アニメとその製作現場 特別講師の授業
14. 「クール・ジャパン」現象を再検討する
15. まとめ

特別講師の講義日程によって、順番については多少の変更があります。

#### 評価

授業への参加意欲25%、授業ごとに提出するミニレポート25%、学期末テスト50%を総合して評価する。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

##### 教科書

津堅信之・アニメーション学入門・平凡社新書

##### 推薦書

大塚英志 + ササキバラゴウ・教養としての まんが・アニメ

米沢嘉博・戦後少女マンガ史 ・ちくま文庫

その他、必要に応じて、授業の中でテキストとプリントを配布します。

科目名	ことばのしくみ		
担当教員名	向後 朋美		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択,選必,必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目はメディアコミュニケーション学科専門科目のコミュニケーション領域に属する選択科目です。この科目を履修したのち、統語論・意味論・形態論・語用論等の言語学の諸分野については「英語学」で、音声学・音韻論の分野については「ナレーションB」と「英語音声学」で学ぶので、4科目すべてを履修すれば英語学・言語学に関する主要な概念・考え方を学ぶことが可能となります。英語の教職課程を履修している学生はこれら4科目すべてを履修してください。また、「ことばと文化」、「ことばと社会」も言語学に関連する科目です。

対象言語としては主に日本語と英語を取り上げながら、心理言語学・社会言語学・通時言語学の諸分野に関する基本的な概念や考え方を学びます。

心理言語学・社会言語学・通時言語学の諸分野に関する基本的な概念や考え方が理解できる。

#### 内容

1	言語学のめざすもの
2	言語とは何か?
3	(人間)言語の特性
4	人間言語と動物言語
5	言語の習得<心理言語学(1)>: 心理言語学のめざすもの
6	言語の習得<心理言語学(2)>: 言語習得の特徴
7	言語の習得<心理言語学(3)>: 母語の習得(英語の自然発話資料を中心に)
8	言語の習得<心理言語学(4)>: 母語の習得(英語の実験発話資料を中心に)
9	言語の習得<心理言語学(5)>: 母語の習得(形態論・統語論・意味論の各モジュールの習得)
10	言語の多様性<社会言語学(1)>: 社会言語学のめざすもの
11	言語の多様性<社会言語学(2)>: 使用地域による違い
12	言語の多様性<社会言語学(3)>: 使用者の性別による違い
13	言語の多様性<社会言語学(4)>: 使用者の年齢・属する社会による違い
14	言語と脳<神経言語学>: 人間は脳のどの部分を使ってことばを発し、理解するのか
15	まとめ

#### 評価

下記の割合で点数化し、60%以上の得点を合格とします。合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1) 期末試験: 70%

(2) 小テスト(毎回授業のはじめに前回授業の復習テストを行います): 30%

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】プリントを配布します。



【推薦書】『ことばの科学ハンドブック』，郡司隆男・西垣内泰介編，研究社，2800円． 801/K

『言語研究入門』，大津由紀雄・池内正幸・今西典子・水光雅則編，研究社，3500円． 801/G

【参考図書】『言語学の方法』，郡司隆男・坂本勉著，岩波書店，3000円．

『言語の科学入門』，松本祐治他著，岩波書店，3400円．

『言語の獲得と喪失』，橋田浩一他著，岩波書店，3400円．

科目名	ことばと文化		
担当教員名	松永 修一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択,選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

日本語の面白さを知る!

この授業は、アクティブラーニング(学生が自ら正解を探す「能動的学習スタイル」)による参加型授業です。

母国語として特に気づくこともなく使っている日本語を、何で? どうして? を大切に言語研究でわかってきたさまざまな成果を元に考察していきます。

単なる知識の伝授だけでなく、考えるプロセスも訓練しましょう。また、ことばや文化との関わりについて考えながら、情報の目利きとして生きることの楽しさについても考えていきましょう。みなさんの様々なアイデア・思考を期待します。

大学での学び・気づきのきっかけになると嬉しいです。

#### 内容

- 第1回 インストラクション(授業の方法と評価の仕方)
- 第2回 言語とは何?
- 第3回 日本語っていつからはじまったの?
- 第4回 言語とコミュニケーション
- 第5回 音声言語としての日本語(音声記号を書けるようにしよう!)
- 第6回 日本語音声の特徴
- 第7回 日本語方言の音声
- 第8回 音響分析と日本語
- 第9回 アクセントとイントネーション
- 第10回 方言とアクセント
- 第11回 文字の歴史
- 第12回 変体仮名を読む(古今集の恋の歌を読む)
- 第13回 表記のゆれと変化
- 第14回 日本語を考える
- 第15回 フィードバック

#### 評価

獲得したポイントにより下記のように評価します。\* 毎回授業後48時間以内に まとめ&感想(質問含む) Self-evaluationクラスの「良い点」「気になる点」「ネクストステップ(具体的な修正アイデア)」をメールで送信。 日常出席まとめ感想メール...1~7ポイント(提出【基礎点】...1ポイント、まとめ&感想...1~3ポイント、Self-evaluation1~3ポイント) レポート・課題...3~8ポイント(6回以上[授業2回につき1つ程度]課す) 最終課題or試験...5~10ポイント 合計ポイントと評価...D<60 C<70 B<80 A<90 S(4回以上の欠席は受講放棄とみなします)

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業中に指示します。

科目名	異文化理解		
担当教員名	森田 勝之		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は諸外国(アメリカ、カナダ、イギリス等)の歴史、言語、文化の研究を通して異文化に触れ、より深く理解し、留学や研修で必要かつ十分な理解を得ようとするものです。

#### 内容

- 第1回: 導入: 異文化理解とは
- 第2回: イギリスの歴史(1) 産業革命まで
- 第3回: イギリスの歴史(2) 産業革命、アメリカへの移民
- 第4回: アメリカの歴史
- 第5回: カナダの歴史
- 第6回: イギリス文化
- 第7回: アメリカ、カナダ文化
- 第8回: イギリス、アメリカ、カナダの言語
- 第9回: イギリス、アメリカ、カナダの風習
- 第10回: イギリス、アメリカ、カナダの習慣
- 第11回: イギリス、アメリカ、カナダ憲法
- 第12回: イギリス、アメリカ、カナダ社会制度と価値観
- 第13回: イギリス、アメリカ、カナダにおける人種
- 第14回: イギリス、アメリカ、カナダ宗教、グローバル化
- 第15回: まとめ

#### 評価

出席、リアクションペーパー、レポートによる。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

プリント

推薦書『t多文化世界』 青木保 岩波書店

科目名	異文化コミュニケーション		
担当教員名	田総 恵子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

学科選択必修科目として、異文化コミュニケーションの特徴を学ぶ。

異なる文化的背景を持つ人と出会ったとき、私たちはうまくコミュニケーションができないと感ずることがある。それは、手段(言語、非言語)が充分でないからなのか、それとも、考え方(文化)が違うからなのだろうか。授業では、コミュニケーションの方法と文化のつながりについて考え、異文化間のコミュニケーションの特徴を探る。さらに、「ネット社会」の急速な発展など最近の社会の変化が、異文化コミュニケーションのあり方に及ぼしている影響についても考えてみたい。

文化の違いとは何かを理解すると同時に、自文化についても考え直すきっかけとする。

## 内容

1	異文化コミュニケーション研究の歴史(1):外なる異文化
2	異文化コミュニケーション研究の歴史(2):内なる異文化
3	コミュニケーション:何を伝えるか
4	コミュニケーション:どうやって伝えるか
5	異文化:文化とは何か
6	非言語コミュニケーション(1);動作
7	非言語コミュニケーション(2):外見
8	言語によるコミュニケーション(1):言語
9	言語によるコミュニケーション(2):思考
10	コミュニケーション・スタイル
11	異文化理解
12	メディアと異文化
13	国際社会における異文化コミュニケーション
14	多文化世界:異文化の融合と共生
15	まとめ

## 評価

レポート(50%)、試験(50%)で総合評価。合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

## 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】鍋倉健悦『異文化コミュニケーション入門』丸善ライブラリー 1997年

【推薦書】石井敏 他 『異文化コミュニケーション・ハンドブック』有斐閣選書 1997年 361.54/1

【参考図書】古田暁 他 『異文化コミュニケーション・キーワード』有斐閣選書 2001年

科目名	サブカルチャー論		
担当教員名	田中 東子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

本講義では、既存の社会学や政治学や文化論を批判することによって一九七〇年代以降イギリスで発展してきた「カルチュラル・スタディーズ」の理論と分析の基礎を学びながら、現代文化としてのサブカルチャーについて検討していく。対象とするのは、ヒップホップやR & Bなど(音楽)、ファッション、ライトノベルやウェブ小説など(文学)、お笑いや韓流ドラマなど(テレビ番組)、W杯やオリンピックなど(スポーツ)、携帯電話やSNSなど(インターネット)といったさまざまなサブカルチャー領域であり、これらの具体的な現象を丹念に調査・観察することを通じて、現代社会における文化の機能と役割、私たちの生活において文化が持っている意義などを探っていく。前半は理論について講義と文献輪読をし、後半は、グループに分かれてフィールドワークを行います。

#### 内容

1. サブカルチャー論とはなにか?
2. サブカルチャーを分析するための理論(1)
3. サブカルチャーを分析するための理論(2)
4. サブカルチャーを分析するための理論(3)
5. サブカルチャーを分析するための理論(4)
6. サブカルチャーを分析するための理論(5)
7. サブカルチャー調査のための計画を立てる(1)
8. サブカルチャー調査のための計画を立てる(2)
9. サブカルチャーの調査と観察(1)
10. サブカルチャーの調査と観察(2)
11. サブカルチャーの調査と観察(3)
12. サブカルチャーの調査と観察(4)
13. サブカルチャーの調査と観察(5)
14. 合同研究発表会
15. まとめ

#### 評価

授業への参加意欲25%、授業ごとに提出するミニレポート25%、学期末テスト50%で総合して評価する。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

##### 教科書

佐藤郁哉・フィールドワーク〔増補版〕・新曜社

その他、必要な文献については授業内で適宜、説明する予定です。

科目名	音声表現論		
担当教員名	川野 一字		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択,選必
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

「聞く」ことと「話す」ことは、「読む」こと「書く」ことと並んでコミュニケーションの基本です。ところが、近頃の若者は人の話を聞いても理解できないとか、自分の考えを分かりやすく人に伝えることが下手だとか、話しことばによるコミュニケーションの力が落ちているといわれます。日本経団連が毎年行っている「新卒社員の採用に関するアンケート調査」のなかで「選考時に重視する要素」を聞いていますが、「コミュニケーション能力」を挙げた企業は5社に4社の割合にのぼり第1位です。特に求められているのが、話しことばで意思を通い合わせる力です。

「聞く力」「話す力」を育てることは就職活動に有利であるとか、将来社会に出たときの必須の能力だとかいうことに止まらず、好ましい人間関係を築いていく上で不可欠のことなのです。この授業では話しことばによるコミュニケーションの基本と応用を、理論の学習と実技の演習をとおして学びます。一定の時間内に(2分から3分)言葉を選びながら的確に話す。試してみるとそう簡単ではないことが分かるはずです。また話を真剣に聞いてポイントをつかむことも大事なことは言うまでもありません。この講座で「聞く力」「話す力」を養って下さい。

#### 内容

コミュニケーション力は、日常の実践をとおして養われます。この授業では毎回、人の話を聞く、文章を読んだりスピーチをしたりする。それを互いに批評しあって、聞くことと話すことのポイントを掴むことに努める。その繰り返して理解力と表現力、構成力を付けていくことを目指します。この授業を担当する3人の教員はいずれもNHKのアナウンサーや記者として長いキャリアを持つ、話しことばによるコミュニケーションのプロです。それぞれの多彩な体験や豊富な知識を盛り込みながら授業を進め、日本語表現の素晴らしさを皆さんに理解してもらい、実践してもらいます。

授業の内容や進め方は教員によって異なりますが、概ね次のようなテーマを取り上げます。

人の話を聞いて理解する 会話を磨く 自己紹介と話しことばのコミュニケーション  
 発声と発音 声に出して読む スピーチ 話の組み立て 報告・リポート・プレゼンテーション  
 インタビューと取材 敬意表現 会議の企画と進行 ディベート ○  
 グループディスカッション

#### 評価

最初の授業で各教員から評価について説明しますが、授業への出席状況を重視します。そのほか、授業内での実技演習、期末のテストあるいはレポートを総合して評価します。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】【推薦書】【参考図書】については、最初の授業で各教員から指示や説明があります。



科目名	日常英会話入門		
担当教員名	アンソニー ルファ		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

This class introduces the student to the basics of the English language with emphasis on speaking and listening. Since English is so important in the modern world, cultural information and as well as grammar and vocabulary will be stressed.

内容

The class will utilize pair work, group discussions, and presentations as the basic methodology of the class.

1	class introductions and expectations
2	class assignments and weather expressions
3	basic vocabulary and group work
4	family and friends
5	food
6	culture and individual presentations
7	health and individual presentations
8	self-expression
9	religion and superstitions
10	presentations and review
11	future plans and ideas
12	past and historical events
13	Christmas and Japanese holidays
14	discussions on holidays
15	presentation or report

評価

The grade is based on achievement and activity (60%), homework (30%), and tests and/or quizzes (20%)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

"Topic Talk", David Martin, EFL Press

科目名	日常英会話入門		
担当教員名	アンソニー ルファ		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部 (2011年度生) - メディアコミュニケーション学科		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状 (英語) / 中学校教諭一種免許状 (英語)		

ねらい ( 科目の性格 科目の概要 学修目標 )

This class introduces the student to the basics of the English language with emphasis on speaking and listening. Since English is so important in the modern world, cultural information and as well as grammar and vocabulary will be stressed.

内容

The class will utilize pair work, group discussions, and presentations as the basic methodology of the class.

1	class introductions and expectations
2	class assignments and weather expressions
3	basic vocabulary and group work
4	family and friends
5	food
6	culture and individual presentations
7	health and individual presentations
8	self-expression
9	religion and superstitions
10	presentations and review
11	future plans and ideas
12	past and historical events
13	Christmas and Japanese holidays
14	discussions on holidays
15	presentation or report

評価

The grade is based on achievement and activity (60%), homework (30%), and tests and/or quizzes (20%)

教科書・推薦書 ( 著者名・書名・出版社名 )

"Topic Talk", David Martin, EFL Press

科目名	日常英会話		
担当教員名	アンソニー ルファ		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

This is the continuation of the basic study of English with emphasis on speaking and listening. This semester will be devoted to presentations, reports, and self-study.

#### 内容

Students will follow the following methodology: review, practice, and recap. Each day students will a topic to discuss.

1	Welcome back
2	class discussion and expectations
3	assigned topic
4	describing pictures or photos
5	giving directions
6	explaining
7	talking about places
8	presentations on given topic
9	presentation on given topic
10	presentation on given topic
11	cultural differences
12	English differences
13	food
14	free class-spelling bee, scrabble, vocabulary bingo or similar
15	final presentation

#### 評価

The grade will be based on homework and quizzes (30%), presentations (30%), and class activity and achievement (40%).

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

"Topic Talk", David Martin, EFL Press

科目名	日常英会話		
担当教員名	アンソニー ルファ		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

This is the continuation of the basic study of English with emphasis on speaking and listening. This semester will be devoted to presentations, reports, and self-study.

内容

Students will follow the following methodology: review, practice, and recap. Each day students will a topic to discuss.

1	Welcome back
2	class discussion and expectations
3	assigned topic
4	describing pictures or photos
5	giving directions
6	explaining
7	talking about places
8	presentations on given topic
9	presentation on given topic
10	presentation on given topic
11	cultural differences
12	English differences
13	food
14	free class-spelling bee, scrabble, vocabulary bingo or similar
15	final presentation

評価

The grade will be based on homework and quizzes (30%), presentations (30%), and class activity and achievement (40%).

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

"Topic Talk", David Martin, EFL Press

科目名	メディア英語		
担当教員名	宮本 正治		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

インターネットが普及した現在、情報の多くが英語でやりとりされています。

この授業では、英字新聞やそのホームページを読むための基本的な知識を学び、実際の記事を読む訓練をおこないます。また、適宜リスニングもおこないます。

辞書を片手に、やさしい英字新聞が読めるようになることが目標です。

#### 内容

テキストは、アメリカ・ニューヨーク州で英語学習者用の新聞として出版されているNews for You紙から記事を選んでいきます。現代世界の様々な出来事や問題に対する知識、関心を深めながら読み進めていきます。授業では、毎週1つのトピックを読みます。

第1週: ガイダンス

第2週: 新聞英語の特徴について

第3週: Unit 1; The Euro: Still Strong After 10 Years

第4週: Unit 2: New Rules Require Truckers to Speak Better English

第5週: Unit 3: A Journey from the Streets to the Nobel Prize

第6週: Unit 4: Britain Warns Public to Prepare for Worldwide Food Crisis

第8週: Unit 5: U.S. Judges Study Science in Court

第9週: Unit 6: A Gold Medal for the Mna Who Saved a Billion Lives

第10週: Unit 7: Russia's President Threatens to Fire Officials Who Lack Computer Skills

第11週: Unit 8: Germany and Poland Fight over Manuscripts

第12週: Unit 9 :Saudi WomenReady to Take the Wheel

第13週: Unit 10: Richardson's Death Brings Awareness to Britain Injuries

第14週: Unit 11: Please Don't Lick the Tuna

第15週: まとめ。

#### 評価

参加態度 50%

テスト 50%

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

『やさしいメディア英語 2010/2011年度版』

大月実著、成美堂、1995円

科目名	ライティング		
担当教員名	宮本 正治		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

英語が国際語となっている現在、社会で活躍するためには英語で自分の意見を表現する力が求められます。そこでこの授業では、ひとつのまとまった内容を英語で書く訓練をすることを目的とします。もちろん、まとまった内容を表現するためには、ある程度の長さのパラグラフを書く必要がでてきます。一文一文を文法的に書くことに加えて、英文エッセイにおけるパラグラフの概念を学び、論理的な文章を書くことをめざします。

#### 内容

英文では論理的な思考が重視されます。そのため、英語で書かれる文章のパターンは論理の流れにしたがうことが多くなります。逆に言うと、英文エッセイのパターンに習熟していれば、論理展開のしっかりした文章を書くことができるわけです。授業では、「意見と理由」「観察と分析」「実験と結果」「賛成と反対」「比較と対比」「分類」「指示」「歴史」「原因と結果」などのパターンを取り上げ、それぞれの文章に応じた書き方を練習していきます。また、教室での演習に加えて、課題を行うことによって、実践的な英文読解のスキルを身につけていきます。

#### 第1週: ガイダンス

第2週: Unit 1: Conclusions/Reasons(Model Essay)

第3週: Unit 1: Conclusions/Reasons(Original Essay)

第4週: Unit 2: Analysis(Model Essay)

第5週: Unit 2: Analysis(Original Essay)

第6週: Unit 3: Theory/Proof(Model Essay)

第7週: Unit 3: Theory/Proof(Original Essay)

第8週: Unit 4: Controversy(Model Essay)

第9週: Unit 4: Controversy(Original Essay)

第10週: Unit 5: Comparison/Contrast(Model Essay)

第11週: Unit 5: Comparison/Contrast(Original Essay)

第12週: Unit 7: Instructions(Model Essay)

第13週: Unit 7: Instructions(Original Essay)

第14週: Unit 8: Chronological Order(Model Essay)

第15週: まとめ

#### 評価

期末テスト50%、平常点(課題、参加態度)50%

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

##### 【教科書】

『Skills for Better Writing 構造で書く英文エッセイ(改訂版)』(石谷由美子他、南雲堂、1900円+税)

科目名	ビジネス英語		
担当教員名	設楽 優子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目はメディアコミュニケーション学科専門科目のランゲージスキル科目の一つで、英語教職課程の中では、英語コミュニケーションのジャンルに分類されている。

ビジネスレターの作成とビジネス英語の口語表現の習得。

ビジネスのシチュエーション別のレターを読み、会話を聞いて理解するところから始める。理解を速やかに表現へとつなげる。ビジネスレターの作成以外に、電子メールの作成、口語による英語表現へとつなげる。

#### 内容

Part I (ビジネス通信の基本), Part II (社交関係の英語), Part III (社内の英語)

, Part IV (取引関係の英語), Part IV (雇用関係の英語)に分かれている教科書を使い、購入・

交渉・説明・契約・決定などの場面や言語機能に注目しながら実例を解析し、実際に文書作成や会話表現を行う。なお、この教科書の各セクションには、書面と会話の両方の実例とその発展形が豊富にある。

第1回： 導入：ビジネス英語の特色 (Part I- Section 1 [I-1と略す。以下同様] 手紙、I

-2. ファックス、を中心として)

第2回： ビジネス通信の基本(1) 手紙・ファックス実例解析 (Appendix A. ビジネスレターの形式、など)

第3回： ビジネス通信の基本(2) 手紙・ファックス実習

第4回： ビジネス電子メールの実例(1) 電子メール解析 (I-3. 電子メール)

第5回： ビジネス電子メールの実例(2) 電子メール実習

第6, 7回： シチュエーション別英語表現の実例と文書作成・口語発展表現(1)

購入 (III-15. 物品の購入、IV-21. 注文、を中心として)

第8, 9回： シチュエーション別英語表現の実例と文書作成・口語発展表現(2)

交渉 (IV-19, IV-20. 引合い(1), (2)、を中心として)

第10, 11回： シチュエーション別英語表現の実例と文書作成・口語発展表現(3)

説明 (IV-23. クレームと調整、を中心として)

第12, 13回： シチュエーション別英語表現の実例と文書作成・口語発展表現(4)

契約 (IV-22. 代金の回収、V-28. 面接結果の通知、V-29. 退職願)

第14回： シチュエーション別英語表現の実例と文書作成・口語発展表現(5)

決定 (III-14. 議事録、を中心として)

第15回： まとめ

#### 評価

以下の割合で点数化し、60 %以上を合格とする。

(1) 期末試験： 60%

(2) 平常点： 40% (小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

[教科書] 豊田暁著・\_Essentials of Global Business English\_・南雲堂

[参考図書、辞典等] 授業で適宜紹介する。



科目名	英語資格試験準備講座		
担当教員名	宮崎 順子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-メディアコミュニケーション学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状(英語)/中学校教諭一種免許状(英語)		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、英語能力試験であるTOEICテスト及び英検2級受験のための、準備クラスです。前期はTOEICテスト、後期は英検が対象となります。

文法、読解、リスニングを総合的に学習して、実用的な英語運用能力を強化し、TOEICテスト及び英検に対応できる力を養成します。英検のクラスでは、一次試験対策に重点をおきます。

TOEICテストでは400点以上のスコア取得を目標とし、英検では2級取得を目指します。

#### 内容

TOEICテストあるいは英検の出題形式に沿った問題演習を行い、ポイントとなる点を取り上げて解説していきます。また、基本的な文法事項の確認も行っていきます。知識の定着を図るために、2~3週ごとに、文法と語彙に関する小テストを実施します。授業には積極的に参加し、予習・復習を行うようにしてください。

#### 講義計画

##### (前期)

- 第1週 At an Airport 「基本文型」 第2週 At a Hotel 「名詞の修飾」  
 第3週 On the Street 「文と文の接続」 第4週 At a Restaurant 「知覚動詞」と「使役動詞」  
 第5週 Shopping 「助動詞」 第6週 At a Bank 「その他の助動詞」と「助動詞+完了形」  
 第7週 Taking a Trip 「時制」 第8週 Seeing the Doctor 「現在完了」  
 第9週 Renting an Apartment 「前置詞」第10週 Sports 「to 不定詞」  
 第11週 Job Hunting 「仮定法過去」 第12週 Talking on the Phone 「仮定法過去完了」  
 第13週 Appointments 「受動態」 第14週 Giving a Presentation 「動名詞」と「分詞構文」  
 第15週 まとめ

##### (後期)

- 第1/3/4/6/7/9/10/12週 短文の語句空所補充・短文中の語句整序・長文の語句空所補充・長文の内容一致選択・リスニング  
 第2/5/8/11週 短文の語句空所補充・短文中の語句整序・長文の内容一致選択・リスニング  
 第13・14週 模擬問題  
 第15週 まとめ

#### 評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1)前期・後期試験： 60%  
 (2)平常点： 40%(授業への参加度・小テスト・課題提出)

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】(前期)松岡昇著『Kick Off for the TOEIC Test<新>基礎から始めるTOE

ICテスト対策教本-リスニング・リーディング演習>』金星堂

(後期) 坂部俊行・岡島徳昭・ウィリアム ノエル著 『英検2級 合格への道』南雲堂

【参考図書・辞典等】授業で適宜紹介します。